2027 地域研究アドバンスド: Frequently Asked Questions

プログラム内容

Q.	このプログラムに参加すると、どのようなことが身に付きますか？
A.	• 人の移動と、それに関わる権利、健康、家族、地域社会の課題について理解を深めます。問いの立て方、資料収集、インタビュー、比較分析など、研究の基礎を学びます。また、英語での対話や発表を通じて、現地での経験を自分自身の分析としてまとめ、伝える力を身に付けます。

現地での活動内容

Q.	各テーマの Key Organizations では、どの様な活動を行いますか?
A.	• 各テーマに関連する国際機関や NGO などで、活動内容についてのレクチャーを受け、担当者へのインタビューや質疑応答、資料収集などを行います。事前授業で準備した問いをもとに課題への理解を深め、調査・分析の成果を踏まえて政策提言を行います。具体的な活動内容は受入機関によって異なります。

リサーチ・テーマ

Q.	関心のあるリサーチ・テーマがいくつかあり、1 つに絞れていません。 申請時点でテーマを決定しておく必要がありますか？
A.	• 申請時点でテーマに関するリサーチ内容の詳細まで決まっている必要はありません。 現時点で関心のあるテーマを選択して申請してください。 • 申請時に第 1 希望および第 2 希望のテーマを選択できます。 面接選考時に、担当教員がヒアリングを行います。

申請要件

Q.	地域研究アドバンスドの申請要件を教えてください。
A.	申請時点で、以下の要件をすべて満たしている必要があります。 • APS2023 カリキュラム生 • 申請時(2026 秋セメスター)に 2～6 セメスター生であり、派遣時(2027 春セメスター)に 3～7 セメスターとなる学生 • 2026 秋セメスター終了時点までに、「英語中級 A」および「英語中級 B」の単位を修得済みまたは免除されている • 申請時(2026 秋セメスター)および派遣時(2027 春セメスター)の両方において「在学」状態であるこれまでに地域研究アドバンスドへ参加したことがない

履修登録

Q.	地域研究アドバンスドに参加する場合、2027 年春セメスターの科目として 8 単位が付与されますが、そのセメスターで履修できる単位数に影響しますか？
A.	• はい。本プログラムで修得する 8 単位は、セメスターの履修登録上限単位数に含まれます。そのため、2027 年春セメスターの科目履修登録にあたっては、本プログラムで修得予定の 8 単位を差し引いて登録する必要があります。

Q.	地域研究アドバンスドに参加する場合、2027 年春セメスターにおいて、通常とおり他の科目も履修できますか？
A.	• はい。セメスター科目、Q1 科目、Q2 科目、夏セッション科目のいずれも、通常とおり履修できます。 ただし、地域研究アドバンスドの事前授業、実習、事後授業と日程が重複する科目は履修できません。 • 参加決定後、時間割の重複がないよう十分注意し履修科目登録を行ってください。

演習科目

Q.	地域研究アドバンスドに参加する場合、演習科目（ゼミ）を履修できますか？ 2023 APS カリキュラムでは、3・4 年次にセミナー科目の履修が必須なため、確認したいです。
A.	• はい。2027 年度派遣プログラムから実習時期が変更となったため、地域研究アドバンスドに参加する場合でも、通常通り演習科目（ゼミ）を履修することができます。 • 不明な点がある場合は、アカデミック・オフィス演習担当（seminar1@apu.ac.jp）までお問い合わせください。

（日本語基準学生のみ） 必修英語言語科目

Q.	2026 年秋セメスター現在、英語中級を履修中です。プログラムに申請できます？また、万一、このセメスターで英語中級の単位を取得できなかった場合はどうなりますか？
A.	• はい、2026 年秋セメスターにおいて英語中級を履修中であっても、申請は可能です。 • ただし、プログラムに参加するためには、2026 年秋セメスター終了時点で英語中級 A および B の両方の単位を取得している必要があります。 • 万一、2026 年秋セメスター終了時点で両科目の単位を取得できなかった場合、合格取り消しとなり、プログラムに参加することはできません。

交換留学への参加

Q.	2027 年春セメスターで地域研究アドバンスドに参加した後、2027 年秋セメスターに交換留学に参加したいと考えています。両方のプログラムに参加することはできますか？
A.	• いいえ。2027 年春セメスターに地域研究アドバンスドへ参加する学生は、2027 年秋セメスターの交換留学に参加することはできません。 • 交換留学を希望する場合は、2028 年春セメスター以降の派遣時期をご検討ください。

査証 (Visa)

Q.	インドネシアとカンボジアの両方でビザを取得する必要がありますか？
A.	• インドネシア: ビザ取得が必要です。手続きは派遣先大学のサポートのもの行われます。 • カンボジア: 国籍によって入国条件が異なるため、ご自身で確認してください。

実習国間（インドネシアからカンボジア）の移動

Q.	インドネシアでの実習終了後、カンボジアへは自分で移動するのですか？
A.	• インドネシアからカンボジアへは、受講者全員で移動します。 • ただし、大学が指定する便を各自で手配していただく必要があります。 • 詳細は講者ガイダンスで説明します。

現地実習前後の海外滞在について

Q.	現地実習の開始前や終了後に、実習国や他国を旅行したり、母国へ一時帰国したいるすことはできますか？ 例: カンボジアで解散後、母国のタイに 1 週間帰国してから日本へ戻る。
A.	• はい、可能です。インドネシアでの実習開始前や、カンボジアでの解散後に、他国への旅行や母国への一時帰国を行うことができます。また、カンボジアで解散後、そのままカンボジに数日間滞在してから出国することも可能です。 • ただし、インドネシアへの入国は、ビザ取得の都合により、必ず 2027 年 8 月 7 日（土）にインドネシアに到着・入国する便を利用してください。

プログラム参加時期

Q.	現在、4 セメスター生です。今回申請して、5 セメスター時にプログラムに参加するべきか、それとも来年申請して、7 セメスター時に参加するべきか迷っています。
A.	• それぞれの皆さんの状況や卒業論文の進捗状況によりますが、以下の理由により 5 セメスターでの参加をおすすめします。 • 各人の事情・状況は異なりますので、最終的な判断はご自身で行ってください。 ① 5 セメで参加: プログラムで得た経験や知見を卒業論文等に活かすことができる。 ② 7 セメで参加: 論文の内容はある程度完成している可能性が高いため、プログラムで得た経験や知識を論文に組み込むのが難しくなる可能性がある。 ③ 就職活動等との兼ね合い。

プログラム参加費用

Q.	プログラムに参加するにあたり、APU に支払うプログラム費以外に、どのような費用がどの程度必要ですか？
A.	APU に支払うプログラム費(30 万～50 万円程度)には、以下の費用が含まれています。 • 派遣先大学へのプログラム費 • 宿泊費（各国 21 泊） - インドネシア: シングル/簡易キッチン付き - カンボジア: ツインシェア/朝食付き - 郊外でのフィールドワーク時(各国 1 回) • 現地交通費の一部 - ジャカルタ宿舎→スカルノハッタ空港(片道) - テチョー空港→プノンペン宿舎まで(片道) • サイトビジット（各国 2 回） • インドネシア入国ビザ申請料 • 危機管理支援システム料 以下の費用はプログラム費には含まれていません。 • 渡航費(フライト) - 日本→インドネシア 約 4~8 万円（入国日指定 2027/8/7） - インドネシア→カンボジ 約 5~8 万円（大学による指定便利用） - インドネシア→日本 4~7 万円（航空会社・経路による） • 海外旅行保険料: 約 3～4 万円 • 食費・生活費: 約 3～4 万円/国 • 現地交通費 - スカルノハッタ空港→ジャカルタ宿舎（片道） - テチョー空港→プノンペン宿舎（片道） - 宿舎↔大学・フィールドワーク: 片道$1-3 程度 - 郊外でのフィールドワーク時(各国 1 回): 2 か国合計で$150 程度 • ビザ申請書類準備にかかる費用（2,000 円程度) • その他上記に含まれないもの **航空券代、その他金額は 2026 年 11 月時点の参考額であり、予約時期・利用便等によって変動します。また、生活費、現地交通費は、個人の状況によって異なります。*

参加辞退

Q.	プログラムへの参加が決定した後、万一、やむを得ない理由により辞退しなければならなくなった場合はどうなりますか？
A.	• プログラム受講が確定した後は、原則として辞退は認められません。 • 万一、やむを得ない事情を含めてプログラムを辞退した場合でも、派遣先大学においてプログラム実施に向けた準備が開始されているため、既に納入したプログラム費の返金額が限定的になる、または、返金されない可能性があります。 • 成績はＦ評価となります。

2026/11/17 作成